

授業科目	*母性看護学実習（2023年度入学生）					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	必修	開講年次	3~4	開講時期	後期・前期
担当教員	古賀 玉緒、杉浦 絹子、前田 幸、山田 恵、新郷 朋香						
授業概要	<p>周産期や健康問題を抱える女性のライフサイクル各期の特徴を理解し、対象の健康状態に応じた看護を実践できる能力を養うことを目的に臨床実習を行う。</p> <p>以上のことについて、実務家教員として臨床で看護師・助産師としての実務経験を有する教員と臨床実習指導者が調整しながら実習指導を行う。</p>						
授業形態	対面授業	授業方法		実習			

学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	実習要項参照 1. 周産期における対象や健康問題を抱える対象の身体的・心理的・社会的特徴を理解し、根拠に基づいた看護過程を展開できる。 2. コミュニケーションを通して母性看護に携わる人々と意欲的に連携しながら実習に取り組むことができる。 3. 看護実践者として、倫理的態度で対象の人権を尊重した行動ができる。 4. 母性看護における看護者の役割を理解できる。
理想的レベル	標準的レベルの到達したうえで、母性看護に携わる人々と主体的にコミュニケーションをはかり倫理原則をふまえて対象をよりよい状態へ導くための支援を提供できる。 根拠をふまえて自分の意見をのべることができる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	0	
小テスト	0	
レポート	50%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	0	
レポート外の提出物	0	
その他	50%	実習評価表に基づいて母性看護に必要な知識思考判断力、看護実践能力等をふまえ総合的に評価します。

カリキュラムマップ（該当DP）・ナンバリング

DP1	-	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	NU31308J
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	--------	----------

学習課題（予習・復習）

1回の目安時間（時間）

看護過程を展開するなかで関連する生理機能・疾患・検査・看護などについて教科書・講義資料を活用し予習・復習に取り組む。	0
--	---

授業計画

第1回	実習オリエンテーション 学内実習（技術練習など） 臨地実習
-----	-------------------------------------

	実習のまとめ (古賀玉緒、杉浦絹子、前田幸、山田恵、新郷朋香)
テキスト	森恵美著：系統看護学講座 母性看護各論 母性看護学[2] 医学書院 荒木奈緒他編：ナーシング・グラフィカ母性看護母性看護技術 メディカ出版 第5版 上田森夫他編：病気がみえる VOL10 産科 第4版 MEDIC MEDIA 太田操著：ウエルネス看護診断にもとづく母性看護過程 第4版 医歯薬出版
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	井上裕美他編：病気がみえる VOL9 婦人科・乳腺外科 第4版 MEDIC MEDICA 村越毅編：ペリネイタルケア 2018年新春増刊 術前・術中・術後のアセスメント&ケアを時系列で網羅！帝王切開バイブル メディカ出版 平澤美恵子他監：写真でわかる母性 看護技術アドバンス インターメディカ 石村由利子編：根拠と事故防止から見た母性看護技術 第3版 医学書院 他、適宜紹介します。
課題に対するフィードバックの方法	レポートは隨時コメントし返却します。
学生へのメッセージ・コメント	<ul style="list-style-type: none"> 母性看護領域のみならず、他領域においてこれまで学習したことも併せて復習しておきましょう。 日頃からメディアや新聞をとおして、妊娠褥婦や新生児に関する情報を把握しておきましょう。 実習要綱や実習要領を熟読し実習に臨みましょう。その際、「母性看護方法論」、「母性看護学演習」で配布された講義資料も 活用しましょう。